

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 4 年 6 月 30 日	
滋賀県知事	殿
提出者	
住 所	滋賀県大津市打出浜 13番15号
氏 名	株式会社 笹 川 組
取締役社長 高田 盛介	
電話番号	077-523-2314
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 笹川組
事業場の所在地	滋賀県 大津市 打出浜 13番15号
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 約40.6億円
③ 従業員数	50 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	混合廃棄物 ー中間処理施設にて選別、最終処分施設にて安定型埋立 コンクリートがら ー中間処理業者にて選別、最終処分施設にて安定型埋立 アスコンがら ー中間処理業者にて選別、最終処分施設にて安定型埋立 がれき類 ー中間処理業者にて選別、最終処分施設にて安定型埋立 廃石膏ボード ー中間処理業者にて選別、原料に再資源化 廃プラスチック類 ー中間処理業者にて選別、原料・燃料に再資源化 金属くず ー中間処理業者にて選別、原料に再資源化 木くず ー中間処理業者にて選別、破砕、合板等に再資源化 石綿含有廃棄物 ー中間処理施設にて破砕し最終処分施設にて管理型埋立 建設汚泥 ー再生処理施設に委託し分級・脱水・固化し再資源化 廃油 ー中間処理業者にて選別、最終処分施設にて焼却

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙資料-管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・鉄くず、廃石膏ボード、紙くずを分別し、他の廃棄物が混在しないように取り組んでいる。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・上記分別の徹底を強化する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 3 年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—
	自 ら 埋 立 処 分 又 は 海 洋 投 入 処 分 を 行 っ た 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施なし		
②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	—	—
	自 ら 埋 立 処 分 又 は 海 洋 投 入 処 分 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 3 年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

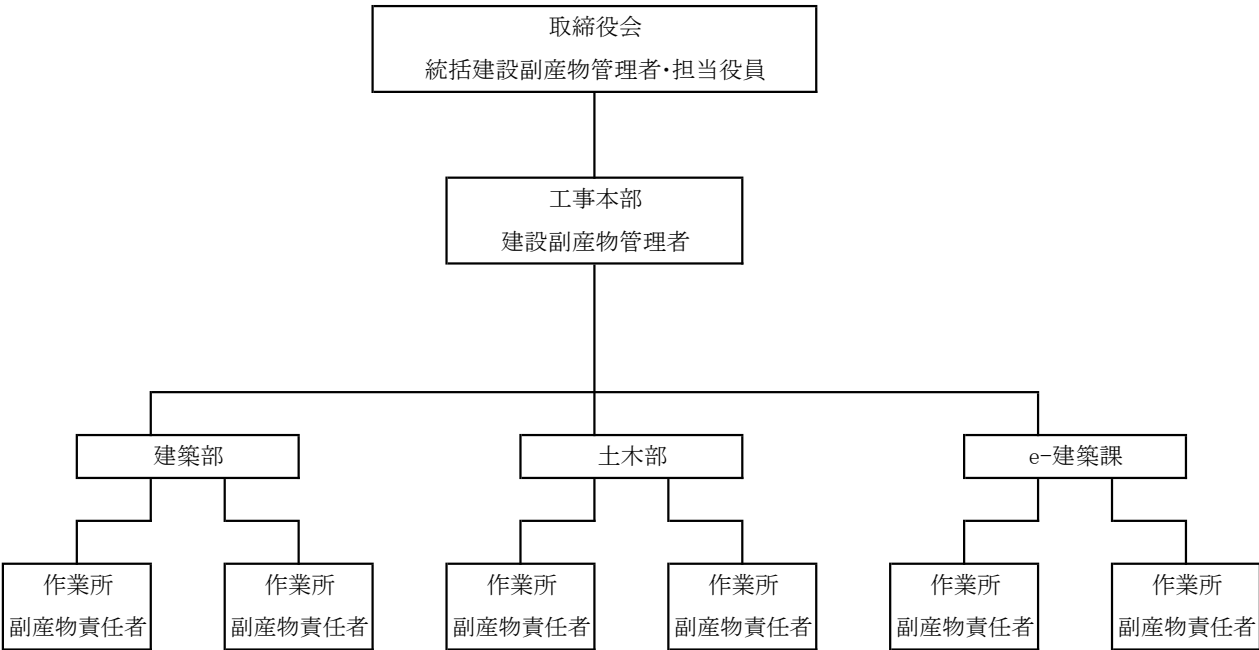
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の処理に係る管理体制

管理体制図



※産業廃棄物処理に係る役割

統括建設副産物管理者・担当役員
産業廃棄物処理計画等の決定
建設副産物管理者
- 各作業所からの処理計画・実施の統括集計・記録保存 - 各作業所への産業廃棄物処理の指導
副産物責任者
- 作業所における産業廃棄物処理計画等の作成 - 作業所における産業廃棄物処理施設の管理 - その他産業廃棄物処理に係るの資料作成・管理・実施

産業廃棄物の種類 現状と計画	混合廃材		管理型混合廃材		コンクリートがら		アスコンがら	
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
排出量	731.856 t	660.000 t	18.824 t	17.000 t	777.109 t	700.000 t	304.000 t	270.000 t
これまでに実施した取組	・梱包材の引き取り(廃プラスチック) ・型枠材の実寸発注(木くず) ・軽量鉄骨の実寸発注(金属くず) ・梱包材の簡素化(廃プラスチック・木くず)							
今後実施する予定の取組	・上記の取組の実施 ・実施工数量に元づく余分材の抑制							
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量								
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量								
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量								
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量								
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
全処理委託量	731.856 t	660.000 t	18.824 t	17.000 t	777.109 t	700.000 t	304.000 t	270.000 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	226.000 t	204.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	761.341 t	580.000	304.000 t	270.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
これまでに実施した取組	・可能な限り再生利用業者へ委託が来ている。							
今後実施する予定の取組	・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・委託先処理業者については、定期的に現地確認を実施する。							

	産業廃棄物の種類 現状と計画	がれき類		ガラス・陶器くず		廃石膏ボード		金属くず	
		現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
	排出量	11.545 t	10.400 t	7.400 t	6.700 t	37.700 t	34.000 t	35.120 t	32.000 t
	これまでに実施した取組	・梱包材の引き取り(廃プラスチック) ・型枠材の実寸発注(木くず) ・軽量鉄骨の実寸発注(金属くず) ・梱包材の簡素化(廃プラスチック・木くず)							
	今後実施する予定の取組	・上記の取組の実施 ・実施工数量に元づく余分材の抑制							
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
	自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量								
	これまでに実施した取組								
	今後実施する予定の取組								
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
	自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量								
	これまでに実施した取組								
	今後実施する予定の取組								
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量								
	これまでに実施した取組								
	今後実施する予定の取組								
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
	全処理委託量	11.545 t	10.400 t	7.400 t	6.700 t	37.700 t	34.000 t	35.120 t	32.000 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	再生利用業者への処理委託量	10.360 t	9.330 t	7.000 t	6.700 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	これまでに実施した取組	・可能な限り再生利用業者へ委託が出来ている。							
	今後実施する予定の取組	・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・委託先処理業者については、定期的に現地確認を実施する。							

産業廃棄物の種類 現状と計画	廃プラ		石綿含有産廃物		蛍光灯		紙くず	
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
排出量	45.755 t	41.200 t	1.400 t	1.300 t	0.014 t	0.013 t	0.090 t	0.089 t
これまでに実施した取組	・梱包材の引き取り(廃プラスチック) ・型枠材の実寸発注(木くず) ・軽量鉄骨の実寸発注(金属くず) ・梱包材の簡素化(廃プラスチック・木くず)							
今後実施する予定の取組	・上記の取組の実施 ・実施工数量に元づく余分材の抑制							
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量								
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量								
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量								
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量								
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
全処理委託量	45.755 t	41.200 t	1.400 t	1.300 t	0.014 t	0.013 t	0.090 t	0.089 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
これまでに実施した取組	・可能な限り再生利用業者へ委託が来ている。							
今後実施する予定の取組	・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・委託先処理業者については、定期的に現地確認を実施する。							

産業廃棄物の種類 現状と計画	木くず		建設汚泥		廃油		廃酸	
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
排出量	44.000 t	40.000 t	754.300 t	680.000 t	0.484 t	0.440 t	0.500 t	0.450 t
これまでに実施した取組	・梱包材の引き取り(廃プラスチック) ・型枠材の実寸発注(木くず) ・軽量鉄骨の実寸発注(金属くず) ・梱包材の簡素化(廃プラスチック・木くず)							
今後実施する予定の取組	・上記の取組の実施 ・実施工数量に元づく余分材の抑制							
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量								
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量								
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量								
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量								
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
全処理委託量	44.000 t	40.000 t	754.300 t	680.000 t	0.484 t	0.440 t	0.500 t	0.450 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.484 t	0.440 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.484 t	0.440 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
これまでに実施した取組	・可能な限り再生利用業者へ委託が来ている。							
今後実施する予定の取組	・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・委託先処理業者については、定期的に現地確認を実施する。							

産業廃棄物の種類 現状と計画	廃アルカリ							
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
排出量	0.432 t	0.392 t						
これまでに実施した取組	・梱包材の引き取り(廃プラスチック) ・型枠材の実寸発注(木くず) ・軽量鉄骨の実寸発注(金属くず) ・梱包材の簡素化(廃プラスチック・木くず)							
今後実施する予定の取組	・上記の取組の実施 ・実施工数量に元づく余分材の抑制							
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量								
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量								
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量								
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量								
これまでに実施した取組								
今後実施する予定の取組								
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
全処理委託量	0.432 t	0.392 t	0.000 t	0.000 t				
優良認定処理業者への処理委託量	0.183 t	0.160 t	0.000 t	0.000 t				
再生利用業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t				
認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t				
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t				
これまでに実施した取組	・可能な限り再生利用業者へ委託が出来ている。							
今後実施する予定の取組	・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・委託先処理業者については、定期的に現地確認を実施する。							